

**私立幼稚園就園補助** — (市外通園児の補助廃止) —

今の時代、家計も余裕がありません。他市の園に行ったからといって補助金をなくすのは間違っていると思います。不平等です。他市に比べると少ない補助金ですが助かっています。園の選択肢を狭めないで下さい。

**野外活動センター** — (休止) —

枚方・寝屋川・大東・四条畷では、自然を活かした運営をされています。交野の地の利である自然を活かした施設を休止することには反対です。常設テントの改修が無理なら、日帰り施設としてBBQ(バーベキュー)だけでも出来る様に、市外の人でも利用できる施設として存続を願います。「休止」となれば施設は傷み、再度使用したく思っても使用できなくなると思います。

**斎場使用料** — (補助の廃止) —

交野市は斎場がなく他市の斎場を使用しなければならない。他市の人は2万円ですむのに、交野市は6万又は6.5万円ださなければならない。市として、1万2千円の補助をカットするのはおかしい。

本来他市と同様に2万円で出来るようにするのが、他市との不公平感をなくす事だと考えるが、当面は1万2千円の補助を続けるべきである。他市より劣っているものはどうするのですか。

**基金(積立金)**

計画案では、平成27年度に基金(積立金)を15億円以上残すとしています。しかし、自治体の収入は税金でまかなわれており、基金に積み立てるのではなく、市民サービスに使うべきです。平成28年度以降は、財政圧迫の要因のひとつである「いきいきランドの借金返済」は大きく減少します。15億円以上残さなくても財政上問題がありません。基金から4~5億円を使用すれば、福祉切り下げ、市民負担増を行う必要はありません。

**12月議会の日程**

月	日	曜	議会日程
11	30	月	本会議
12	4	金	常任委員会
	9	水	議会運営委員会(意見書の取扱い)
	14	月	本会議(一般質問)
	15	火	本会議(一般質問)
	16	水	本会議(一般質問)
	18	金	本会議(委員長報告・採決)

※日本共産党の一般質問は16日(水)の予定です。

**市の姿勢について**

●財政健全化は弱者へしわよせされています。高齢者、障がい者、低所得者などへの切り捨てが提案されています。社会的弱者へのしわよせには反対です。

●住民意見が市政に反映される仕組みにして下さい。住民の意見を聞いたが参考にしますでは何もならない。



**決算特別委員会**

**人権相談事業は廃止をすべき**

■各種相談事業の経費と相談件数(平成20年度)

相談種別	相談件数	歳出決算額(円)	府の補助金	1件あたりの経費(円)
法律相談	338	2,059,600	0	6,093
夜間法律相談	29	193,080	0	6,658
行政相談	15	86,400	0	5,760
年金なんでも相談	31	36,000	0	1,161
土地建物相談	18	36,600	0	2,033
税相談	19	18,000	0	947
登記相談	14	0	0	0
相続・遺言相談	38	0	0	0
人権相談	30	2,338,800	900,400	77,960
女性相談	9	120,000	0	13,333
消費者相談	705	5,976,070	0	8,477
就労支援相談	144	2,955,871	1,138,000	20,527
進路選択支援相談	30	572,400	219,600	19,080

**1件あたり7万8千円もの異常な経費**

日本共産党が20年度の決算特別委員会で、各種相談活動の件数と経費について質問したところ、人権相談について、相談件数が年間30件に対し、経費は年間約234万円で、1件あたり7万8千円もの異常な経費となっていることが明らかになりました。

さかの光雄議員は、「昔の同和事業を引き継いでいる人権相談は廃止して、他の相談事業で対応すべきだ」と求めました。

